

アクション・京都 NEWS



京都交流集会から1か月、署名活動が広がり 3月3日集約で12万筆を突破 南部連絡会結成や右京集会など次々開催



2月3日にキャンパスプラザで「3000万署名60万突破をめざす京都交流集会」を開催してから1か月が経過し、府下各地で地域のアクションや連絡会などが結成され、団体や地域・個人での活動を進める努力が重ねられました。府下南部では各地域運動の連絡会が結成され、城陽文化

パークで高山京大教授を招いて学習・交流会を行いました。また、右京アクションでは右京集会を開催し、120名が参加するなど、各地域の取り組みが進められています。2月の京都交流集会から一か月目の、3月3日で各団体や地域などの署名の到達を聞く中で、京都全体で10万筆を突破し12万筆を超える署名の到達となったことがわかりました。

森友問題や働き方改革などで苦境に立たされている安倍内閣ですが、9条改憲は最優先課題となっている事は変わりありません。京都では知事選挙が行われますが、知事選挙の中でもアベ9条改憲の危険性を知らせ、あらゆる方向から安倍内閣を追いつめるたたかいを共同で進めましょう。

「次世代も住める街へ～安倍9条 NO! やましな (略称:改憲 NO! 山科)」3月7日結成

3月7日6時30分から山科駅前のアスニ-研修室で、「次世代も住める街へ

～安倍9条 NO! やましな(略称:改憲 NO! 山科)」が結成されました。会場には山科区の各地域や団体・個人などがかけつけ、60名を超える結成集会となりました。集会は山科の地元に住む団体や個人が3回の準備会を重ね「アベ改憲 NO! の活動とともに、憲法を自分たちの暮らしに生かす活動を共に進めたい」との思いで、「次世代も住める街へ～安倍9条 NO! やましな」という会の名称とする事になった事が報告されました。

平和願うミニコンサート・講演・交流など多彩に開催



開会は地元の森弁護士の、平和を伝えるミニコンサートから始まり、山科区に在住する市民環境研究所の石田先生と龍谷大学奥野先生が30分間の講演を行いました。石田先生は「公害・環境問題の研究・実践を続ける中で、福島原発汚染という最大の公害に出会い、科学者としての研究とともに、人権が守られなければいけない。憲法をないがしろにする政府や政治は変えなければいけない」と語られました。奥野先生は、政治日程からアベ9条改憲の策動は今年度一杯が最大の山場であり、今市民が共同して立ち上がらなければいけない。自衛隊に賛成の人でも安倍首相の改憲に危惧感を抱く人は多い、今自衛隊を憲法に書き込むのは危険という事を市民は感じており、生活の場からともにたたかおう」と話されました。

その後、山科各地域の活動が交流され、各地域の状況や到達に沿いながら、山科らしい運動を作り、一人一人と対話しながら、安倍首相の目指す9条の改憲を阻止するために、共同してたたかう事を確認しました。



発行:「安倍9条改憲 NO! 全国市民アクション・京都」
連絡先:〒612-8081 京都市伏見区新町1-1丁目365 憲法9条京都の会
FAX 075-603-8135 メール action.kyoto@gmail.com
振込口座(ゆうちょ銀行)全国市民アクション・京都 (番号)00960-5-173844